

じどうしつだより No. 64 (2008. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>「いまなんじ？」</p> <p>松成真理子[作] 学研 2008.4</p> <p>1109410443</p>	<p>おじいちゃんのすごくかっこいいのでどけい。「あしたのあさまでとりかえっこしよう」ってぼくのめざましどけいととりかえてくれた。でも、とけいのみかたがわからない。いもうとに「いまなんじ？」ってきかれて、うそをおしえちゃった。「おじいちゃんのとけいがうそついた」となくいもうと。ぼくもなきたくなっちゃって・・・。</p>
<p>「これがほんとの大きさ！」</p> <p>スティーブ・ジェンキンス作 評論社 2008.3</p> <p>1109380596</p>	<p>ダイオウイカの目玉をのぞいたことある？ゴリラとあくしゅしたことは？トラとにらめっこはどう？色鮮やかな切り絵で紹介される動物は、すべてほんものと同じサイズ！どんなに大きいか、どんなに小さいかくらべてみよう。</p>
<p>「白い牛をおいかけて」</p> <p>トレイス・シーモア文 ウェンディ・アンダスン・ハルパリン絵 ゴブリン書房 2008.4</p> <p>1109403879</p>	<p>ケンタッキーのどこかに、にげだしたうちの白い牛がいる。父さんたちはあつというまにつかまえてくるといったけど、ぜんぜんつかまらない。こんどはおじさんやおじいちゃんにもたのんだけどだめだった。ほんとうに頭のいい牛。次に牛をみつけたのは私。そっとロープをつかんだ。もうはなさない。</p>
<p>「ツルのとぶ大地で」</p> <p>こやま峰子文 小泉るみ子絵 女子パウロ会 2008.4</p> <p>1109398204</p>	<p>北海道にすむちおりちゃんは新しいことばがなかなかおぼえられない。お友だちと遊ぶのもにがて。お医者さんには「自閉症という障害です」と告げられる。そんなちおりちゃんが両親やお友だち、ボランティアに支えられながら成長してゆきます。</p>
<p>「やかましい！」</p> <p>シムズ・タバック絵 アン・マクガバン文 フレーベル館 2008.4</p> <p>1109403805</p>	<p>ふるいいえにすんでいるおじいさん。ベッドやゆか、いろいろな音がやかましい！そこで、ものしりはかせにそうだんすると、「ウシといっしょにくらすのじゃ」と。ためしてみたが、まだやかましい！はかせにいわれるままに、ロバ、ヒツジ、ニワトリと、いっしょにくらすどうぶつはどんどんふえていくが・・・。</p>
<p>「ヤクーバとライオン」1 勇気</p> <p>ティエリー・デデュエ作 講談社 2008.3</p> <p>1109392962</p>	<p>アフリカのおくちにある小さな村。祭りのじゅんぴがはじまっている。きょうは成長した少年たちが戦士になるとくべつな日なのだ。戦士になるには勇気があることをしめさなければならぬ。ライオンとひとりたたかかって、たおすのだ。ヤクーバもライオンをもとめてさまよっていた。そしてヤクーバは一頭のライオンと出会う。</p>